



2013-14 年度 R I のテーマ「ロータリーを實踐し
みんなに豊かな人生を」
R I 会長 ロン D.バートン (Engage Rotary , Change Lives)
八戸南ロータリークラブ会報



ガバナー 北山 輝夫 会長 小原 隆平 幹事 清川 浩幸 会報委員長 三浦 晃
ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email : hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp
RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org>

第 1846 回例会記録 会員増強・職業分類委員会担当例会
2013 年 8 月 8 日 (木) 点鐘 12 : 30

レポート NO.1285

第 1846 回例会要旨

- ・四つのテスト唱和
- ・会長要件 小原会長
- ・幹事報告 清川幹事
- ・各委員会報告
出席、親睦、会計、広報・雑誌・IT、米山奨学会
- ・会員増強・職業分類委員会



出席報告 田守委員長

正会員数 44 名。出席免除会
員を除く会員 34 名。本日の
出席は免除会員 2 名を含む
24 名。出席率 64% です。前々
回の例会はメーキャップ 3
名、出席率 70%

会長要件 小原会長



8 月 1 日の長生園入居者の三社
大祭への招待につきましては、
会員の皆様の御協力ありがと
うございました。当日は少し涼
しすぎましたがお蔭様で雨に
あたらずに済みました。また、

8 月 2 日夜の納涼例会には沢山の会員及び家族の皆様
に御出席いただきありがとうございました。当日は好天
に恵まれましたので、お楽しみいただけたのではない
かと思います。

さて、8 月 2 日のデーリー東北にロータリー関係のカ
ラー記事が並んで掲載されていました。一つはわが南
クラブの長生園関係の記事です。広報委員長の鈴木会
員の御尽力により、結構大きなスペースで掲載されて
います。

もう一つは、チェコ駐日全権大使カテリーナ・フィ
アルコヴァーさんが三社大祭に参加されている記事で
す。調べてみたところ、東日本大震災直後にプラハ RC
から姉妹クラブである京都洛中 RC に、被災地の子供た
ちをプラハへ招待したいとの申し出があり、京都洛中
RC で検討を重ねた結果、被災地である青森県八戸沿岸
部の子供たちをプラハに派遣しようと思ったのが発端
のようです。2011 年 12 月に、京都洛中 RC メンバー
と当地の村井被災地復興支援委員会委員長他のメン
バーが協議を開始し、その後、チェコ外務省、チェコ
駐日大使館、プラハ市、八戸市その他の協力を得て、5
回にわたるオリエンテーションを経て、昨年 7 月から 8
月にかけて、八戸市、三沢市、おいらせ町、南部町の
12 高校から高校生 26 名、教諭 4 名を 2 週間にわたって
チェコの首都プラハに派遣しました。京都洛中 RC 関係

者 20 名、当地の鐘ヶ江 PG 及び富岡地区 R 財団委員
長 (当時) が同行しました。カテリーナ駐日全権大使
が派遣前に八戸市で行われたオリエンテーションに出
席して講演したことが、今回の三社大祭参加につな
がったようです。これらの詳細については、当地の 2012
年 10 月ガバナー月信の第 2830 地区被災地復興支援委
員会活動総括 (村井委員長) や京都洛中 RC のホームペ
ージをご覧ください。本日は会員増強・職業分類委員
会担当例会です。村上委員長、どうぞよろしく御願
いします。

《長嶺会員へ RLI リーダー修了書授与》



RLI リーダーシップ研修
会は当クラブの黒田元 RI
理事が日本支部長を務め
られており、前年度は私と
清川幹事が 3 回参加しまし
た。長嶺会員は講師側とし
て参加なさいました。

本人誕生日《7・8 月合同記念品贈呈》



久保田会員
奥様誕生日



長嶺会員



小原会長



村上会員 原田会員

幹事報告 清川幹事



本日 11 時半から定例理事役員会が開催されました。

9月プログラムについて:9月5日 青少年奉仕委員会担当例会・9月12日ガバナー公式訪問準備例会9月19日ガバナー公式訪問例会・9月26日 年間プログラム掲載とは異なり、職業奉仕担当例会に変更。吉田会員のホープフルのぎく園への職場訪問。

地区大会のお知らせがレターボックスに入っています。ガバナー事務所より、全員登録のお願いがあり、理事会にて承認されました。

3月20日の例会は3月13日任意休会と入れ替えで3月20日が任意休会となります。

南浦項 RC より第31周年記念例会 11月8日(金)開催のご案内。是非ご参加下さい。参加希望連絡は幹事まで。イカノフ「種差 scenery 展」写真家 北島敬三が撮った被災地三陸と八戸の人々の案内が届いております。八戸市美術館於 8月31日~9月23日まで 入場無料 9月1日 八戸グランドホテル懇親会 希望者は幹事まで。The Rotarian 事務局に届いています。

ニコニコ・ボックス平光親睦委員長



小原会長:8月1日3社大祭2日納涼例会ご協力ありがとうございました。

村上委員長:本日宜しくお願い致します。

清川幹事:納涼例会多数のご参加ありがとうございました。本日会員増強・職業分類委員会宜しくお願い致します。

山子会員:お陰様で義母の葬儀が終わりました。皆様ありがとうございました。

赤穂会員:8月1日長生園ご招待の際は皆様ご協力ありがとうございました。

熊谷会員:三浦さん・工藤さん写真ありがとうございました。

鈴木会員:納涼例会お世話になりました。

平光会員:納涼例会沢山ご出席いただきありがとうございました。

久保田会員・小原会員・長嶺会員:本人誕生日 ありがとうございます。

村上会員・原田会員:奥様誕生日 ありがとうございます。

《伊藤会計》

7月25日の例会で決算報告・本年度予算審議本年度会計監査を長嶺会員にお願いした件皆様からご承認頂くのを失念してしまいました。この場をお借りして再度ご承認願えるかどうか、宜しくお願い致します。

(拍手により承認される)

《鈴木広報・雑誌・IT委員長》

8月2日デーリー東北紙に、長生園三社大祭観覧招待の記事が掲載されました。

8月号ロータリーの友誌の記事紹介横組み p.32 RI 組



織、運営審査委員長とロータリー日本財団理事に、黒田正宏会員が掲載。縦組み p.10 八戸 RC 石橋司会員の投稿掲載。縦組み p.2 日本・トルコ友好の礎として、明治のエルトクール号遭難についての講演要旨掲載。因みに、この事件で大きな

役割を果たした人に、八戸出身の野田正太郎と言う新聞記者がいました。生存者が帰国する時に同行し、新聞社が集めた義援金を直接届け、その後トルコ陸軍士官学校で日本語の教官になり、今でもトルコの教科書に出てくるそうです。串本町の記念館にもそのことが掲示されています。彼は、元八戸中央 RC 会長の野田康夫氏(私の母の従弟)の祖父にあたります。記事にあるように、イラン・イラク戦争の際トルコの飛行機による日本人救出に繋がった出来事ですので是非お読みください。

《米山奨学会山田副委員長》



米山奨学会副委員長山田でございます。米山のご寄付を頂戴いたしましたのでご報告させていただきます。

岡山さん法官先生から多額の寄付を頂戴いたしました。ありがとうございました。

会員増強・職業分類委員会村上委員長



会員増強・職業分類委員会委員長の村上でございます。

八戸南 RC 新会員 3 名増、会長方針でございますので何とか達成したいと思っておりますのでご協力お願い致します。

日本のロータリークラブ会員数平成 8 年、130,982 名 平成 25 年には 89,315 名 31.8% の減という数字が出ております。これは、福島地震もありまして、その背景もあろうかと思ひ、この数字を見ておりました。

我が八戸南 RC も会員数が減っているわけですが、会員数を増やすには、先ず、会の中を固めなければならないと考えるわけでございます。新しく会に入られても直ぐ辞めてしまえば意味がないわけです。先日、会員増強・職業分類委員会そして橋本会員選考委員長、野澤ロータリー情報退会防止委員長、この 3 つの委員会の合同委員会を会長にお願いしやらせて頂きました。この中でフリートーカー的な話し合いをし、非常に楽しい時間を過ごさせて頂きました。

その中で色々な話し合いをしたわけですが、ロータリーの情報を見ておきますと、会員減の実態として馴染めない、楽しくない、魅力がない、会員意識の低下等色々あるわけですが、これを言葉にしているだけでは何の意味もないと、私は考えます。八戸南 RC の委員会及びスポンサーのやり方を私なりに見て、皆様も感じ

ていることだと思いますが、果たしてどうだろうか？
例えば、委員会の活動内容をその委員会の所属メンバーの何割が把握しているかどうか、これは非常に疑問でございます。ましてや、委員長の意思(会長の)年度当初に徹底しているかどうか...これもなっていない気がいたします。また、委員会で何らかの行事をする時に委員の皆様、このようなことをやるから参加してください...等の、アプローチがあるかどうか、これも無いだろう。そしてまた、活動が終わった後に、その活動内容について反省し改善案を出しているかどうか、の取り組みも無いように思います。こうした中で、新しい会員の方が入会された場合、はたして楽しいと感じ参加意欲が増すことが出てくるかどうか...疑問です。新しく入ってきて、どこに行っても初対面、二次会に行っても初めて、例会に参加しても隣の方と言葉を交わすのが精一杯という中で、何をどうして良いか分からないというのが実態であろうかと思えます。

こんな話がございます。サッカーのなでしこジャパンが金メダルを取りましたが、外国の監督が言ったことは、「澤選手はボールのいく所、チャンスのあるところに必ず居る。何たることか？」

これは澤選手がサッカーを知り尽くし、試合の流れを読みながらその方向に走って行く、と言う事だと思えます。そしてこのなでしこジャパンを構成しているメンバーは、その各々の役割を知り、サッカーは点数を入れなければ勝てないと言う事をよく知っている。敵が防御してくるのも、ゴールキーパーの動きもわかる...そうすればそれぞれの立場で何をすべきか把握し、11人が結束をし、その結果が金メダルであったわけです。このことを翻ってロータリーを鑑みれば、新しい会員が入っていらして、右も左も判らないという方に、委員長をやりなさいとか、今度の行事で手伝いなさい...と言われても、何ができるでしょうか？ましてやロータリーに入っている方々は、其々色々な苦勞を重ね、経験を踏み、それを身に着けながら来ているわけですから、そういった方々に対して、失礼なことだと、私は思っております。従って、少なくとも委員長たるものは委員会のメンバーに委員会はどういうことをやるのか、其の為にはどういうことを踏まえてやるのか、と言う事を納得させなければいけないと思えます。色々な委員会があり、その中にはそれほど活動のないものもあります。その場合は、一人で出来る場合は、一人でやらせて頂く旨伝え、万が一欠席の場合はカバーして頂きたいと準備しておけば、それだけで帰属意識も高まるかと思えます。

私にも新入会員時代がありまして、その頃の八戸南 RC は色々な委員会の会合がありまして、会長・幹事の日程の取り合いというのがあったと記憶しております。会長・幹事は忙しく、会合が続くわけですから、他の委員会に何時までに行かなければ...という

事があれば、委員会同士日程調整の譲り合いのやり取りがあったと、わたくしは記憶しております。この辺を意識しながら委員会を盛り立て、八戸南 RC を盛り立て、内部を固めその上で3名の新会員増員を皆様にお願ひしたいと、考えております。委員会に留まらず、テーブルごとの夜の会合もでございます。サッカーの例えではございませんが、八戸南 RC というスペースの中で動くわけです。サッカーであれば、大きな競技場の中で競技の内容も分からずルールも分からず送り込まれたならば、立ち竦むのが精々であろうかと思えます。今回の先ほど申し上げた三つの委員会の合同の会合に於いて、人選として三つの委員会の委員長、クラブ組織運営委員会委員長及び会長・幹事及び年の若い順からベストテンという方を選んでやらせて頂きました。当初からフリーティングという形でやらせて頂きましたがその中で、最後まで発言を控えておられたのは原田会員でございます。他の方は其々に発言をして頂いたと思っております。

そういう形で委員会を盛り立て、八戸南 RC を楽しい、参加してよかったなあという会にして頂きたい。これは委員長の腹一つで出来るであろうかと思えます。確かにロータリーというのは、難しい。例会は週一度、理事会は月一度です。時として準備不足のまま委員会を開催することもあるかもしれません、漏れもあるかもしれません。その時には「連絡がなかった」とかおっしゃらず、不手際を容認できる会にしていけたらと願っています。

不良会員の私がこのようなことを申し上げるは非常に恐縮ですが、皆様にご理解頂いて、小原会長を盛り立てて、3名増員をお願いしたいと考える次第でございます。

皆様のテーブルに入会手続きの表を置きました。その中で私の委員会の本年度の方針として黒塗りした部分がございます。「本人入会意志確認」ここだけを後ろにずらしてございます。この方を入会させたい、と思う方がいらした場合は、私か幹事にご連絡頂きたい。そして、私か幹事から「その方を入会に誘って下さい。」と申上げた時には、もう八戸南 RC 全員の承認を得たという体制にもっていきたいと考えております。理事会で承認頂き今年の委員会の方針としてやっていきたいと考えております。いたずらに手続きに従って振り回されることなく、要は、手続きは簡単な方が良い、と頭に入れ、例会・理事会を通して、新入会員に誘う方が承諾した時点では、もう全てがすんなり通る形にもっていきたいと思っております。

小原会長は仰いませんので、私から今一度、3名の会員増員をお願いして会員増強・職業分類委員会担当例会終わらせて頂きたいと思えます。